

県立中央病院連携室だより

-ともに歩む地域医療-

Vol.18

●発行日／平成27年1月

●発行／岩手県立中央病院地域医療福祉連携室

〒020-0066 盛岡市上田1-4-1 TEL 019 (653) 1151 (内2191)

●URL／<http://www5.pref.iwate.jp/~chuohp/>

地域医療連携推進の基本方針

1. 顔の見える連携
2. 地域連携パスと逆紹介の推進
3. 紹介患者の迅速予約と優先診療
4. PHS による Dr. Direct Call
5. 24 時間救急受け入れ体制
6. 地域医療福祉連携室を通じた地域包括型連携の推進
7. 高額医療機器の共同利用推進
8. 地域医療研修センターの利用の推進

益々の連携を

副院長兼地域医療支援部長 村上 晶彦

新年あけましておめでとうございます。

厚生労働省の国民医療改革会議では、地域包括を旗印に地域での病床数の定数化や、在宅推進を進めている。これまでは、医療機関の機能分化と地域連携を推進するために、病院を1. 特定機能病院、2. 一般病院、3. 地域医療支援病院に分けて病床も一般病床と療養病床に分けて機能分化を図ってきた。しかし、医療資源の限界に近づき、更に、高齢化のピークとなる2025年医療制度改革に向けて、医療機関の機能分化・強化と連携・在宅医療の充実等が求められている。すなわち、高度急性期機能病床、急性期機能病床、回復期機能病床、慢性期機能病床の4群に分けて届け出をする様に求められている。今回の平成26年診療報酬改定において、7対1入院基本料の施設基準に退院患者の在宅復帰率75%以上、新設される地域包括ケア病棟、療養病棟にもそれぞれ在宅復帰率70%以上、50%以上に加算が設けられ、介護も含めて一つの医療機関として地域全体が機能する「地域包括ケアシステム」の構築が求められている。さらに、現在の7対1の急性期一般病棟35万7569床を2025年には18万床まで減らして、その他に地域に密着した病床を24万床に改革する方針であり、1. 2025年に向けて病床再編の加速、2. 患者の早期在宅復帰の推進、3. 主治医機能の強化、4. 地域包括連携の推進がキーワードである。これからは、地域毎の必要病床数を県に届けて、地域全体で包括ケアをする事が「病院生き残り」に必要である。当院の在宅復帰率は90%以上である。しかし、今後益々の医療機関だけでなく、介護保険施設や在宅医療施設との連携が強く望まれる。地域全体の診療機関、行政も巻き込んだチーム医療が必要である。

また、当院は、「救急車を断らない」と「県下にあまねく医療の均霑を」をモットーに救急医療と地域医療を行い、年間21,000人の救急患者と6,000台の救急車を受け入れている。当院搬送のCPAは今年1月から10月までで、123例あり、うち、老人保健施設やグループホームなどの介護施設からは17例（14%）であった。救急現場の看取りも問題である。もう一つのミッションである地域診療支援は、1人の医師が1日当直や診療応援をする事を1回と数えると、沿岸部地域や医師不足地域を中心に年間3,000回の診療応援も継続している。

その中で「地域包括ケア：すなわち、住み慣れた土地で最後まで過ごす事ができる」をキーワードに、ますます地域の先生方や医療施設と緊密な連携が必要である。岩手の各地域には腕のいい先生がおられ、そこに有名な医療スタッフと組んでおり、首都圏に負けない検査・治療を実践している。そこに岩手の力強さを感じている。3.11から3年10ヶ月経過したが、三陸復興は道半ばである。国の方針には従いながら、岩手の独自性を見出し、岩手から発信できればと考える。地域のチームとして機能し全体で岩手を盛り上げましょう。



耐性菌も地域連携！？

感染管理部 感染管理認定看護師 福田 祐子

「耐性菌も地域連携!？」と思われるかもしれませんが、急性期病院から後方支援病院、あるいは施設、自宅から開業医へというように、患者さんは色々な環境で医療・介護を受けています。それに伴い、耐性菌や結核・疥癬・インフルエンザなども患者さんと共に移動してしまう環境にあります。

院内感染対策から医療関連感染対策へと時代は変化し、H24 年から感染防止対策加算 1・2、地域連携加算が新設されました。

当院では加算 1 を取得し、現在、加算 2 の 4 施設（盛岡友愛病院・いわてリハビリテーションセンター・国立病院機構盛岡病院・もりおかこども病院）と連携し、年 4 回の合同カンファレンスを実施しています。合同カンファレンスは、毎回施設を変え、院内ラウンドを 1 時間・カンファレンスを 1 時間実施し、結果を写真付きの文書でフィードバックしています。今年度末にはそれぞれの施設の取り組みを発表し、意見交換の予定です。取り組みの結果、各施設の課題が明確となり、お互いの良い取り組みを参考にしたり、悩んでいるところを相談したりすることで、感染対策が向上しています。

地域連携加算では加算 1 の施設（岩手医科大学付属病院・盛岡赤十字病院）同士が連携し、自施設のレベルアップに取り組んでいます。感染対策チームの評価なので、厳しいチェックとなっておりますが、異なった視点で評価することで、切磋琢磨の関係を築いています。

今後も施設間連携を強化し、地域ぐるみで医療関連感染対策を実施していきたいと思います。



脳卒中・大腿頸部骨折地域連携クリティカルパス合同検討会の開催について

業務企画室 主査 西野 謙次

12月4日、今年度第2回目の上記検討会を盛岡赤十字病院において開催しました。

この検討会は、当院及び盛岡赤十字病院と、両病院のいずれかが計画を作成した脳卒中・大腿頸部骨折地域連携クリティカルパス（以下「パス」）に基づき診療等を行う登録医療機関で行うもので、年3回の実施が義務づけられています。

急性期・回復期の病院12施設から約40名、医師をはじめ、看護師、理学療法士、医療社会事業士、事務など多職種の方々にご参加いただき、パスの運用やパスを適用する患者さんの状況などについて、活発に報告・検討を行いました。

当院からは、全国・岩手県の大腿骨頸部骨折罹患者の状況報告のほか、当院が11月に受けた特定共同指導において、脳卒中パスの運用で一部規程に則していない事例が指摘されたことから、適正な対応を行うまでの約3週間程度、管理料・指導料が算定できない期間が発生したことについて経緯を報告し、お詫びと対応方法について説明致しました。

今回は2月末～3月の開催予定（盛岡赤十字病院担当）です。

【地域連携クリティカルパスとは】

急性期病院から回復・維持期医療機関等を経て自宅に帰れるような診療計画を作成し、治療等に関わる全ての医療機関等で共有して用いる診療計画書のことを言います。診療等にあたる複数の医療機関等が役割分担を決め、あらかじめ診療内容や治療経過、最終目的などを診療計画として患者さんに明示・説明することで、より安心して医療を受けることができるようになることが期待されています。



登録医

ご紹介コーナー

今回は、滝沢市巢子の『高橋内科胃腸科クリニック』をご紹介します。

当院は滝沢市(旧滝沢村)巢子地区というところにあります。盛岡のすぐ隣の小さな街です。平成10年4月23日に私がここに開院して、早いものでもう17年近くたちます。自分の中ではついこの前ですが、今回撮った写真の自分を見ると、なるほど17年だなーと感慨ひとしお(がっかり?)です。

当院に来てくれる患者さんは、ほとんどが近隣の方です。従って自然にこの地域のかかりつけ医という立場になっていると思います。高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病で定期的に受診される方、風邪、急性胃腸炎などの急性疾患で訪れる方々。あと専門が消化器なので胃や大腸の内視鏡検査も行っています。健診できてくれる方もたくさんいます。総合病院にお願いしてお世話になるのは、一日に1人か2人でしょうか?重症(重症かもしれない)で急を要する患者さん、何らかの疾患でさらなる精密検査や手術が必要な方、あるいは慢性疾患でコントロールが悪い方などになります。地理的に近いという要因もあり、多くの患者さんが岩手県立中央病院を希望され、お願いしております。ご紹介して元気になって帰られると大変感謝されます。また、開業するまでは分からなかったのですが、“異常なし”あるいは結果的に軽くてたいしたことがなかった場合でも、患者さんに“おかげさまでした、紹介していただいてありがとうございました”と言われます。あたりまえですが病診連携はとても重要です。患者さんに信頼されることはもちろんですが、紹介先にも認められる医院になるよう、皺が増えて頭が薄くなっても(私のこと)、スタッフ一同、日々スキルアップしていきたいと思っております。



高橋内科胃腸科クリニック

院長 高橋 真(たかはし まこと)先生



高橋内科胃腸科クリニック

〒住所	〒020-0173 滝沢市滝沢巢子 1186-14						
電話・fax	☎019-688-8111・fax019-688-8112						
診療科目	内科、胃腸科						
診療時間		月	火	水	木	金	土
	8:30~12:00	●	●	●	●	●	●
	14:00~18:00	●	●	休	●	●	休
休診日	日曜日、祝祭日、第2・4土曜日						

地域医療支援センターからのお知らせ

第7回 岩手県立中央病院糖尿病ネットワーク勉強会

日時：平成27年2月13日(金) 19:00~20:00

会場：岩手県立中央病院 4階 大ホール

内容：演題「経口血糖降下薬の最近の話題」 岩手県立遠野病院 院長 菅原 隆

外来診療スケジュール（紹介患者用）

（平成27年1月1日現在）

岩手県立中央病院

診療科	月	火	水	木	金
血液内科	村 井 一 範	田 苗 健	濱 田 宏 之	佐 藤 彰 宜	宮 入 泰 郎
総合診療科	坂 本 和 太	橋 本 洋	橋 本 朋 子	大和田 雅 彦	山 田 芙久子
腎臓内科	中 屋 来 哉	佐々木 浩 代	吉 川 和 寛	相 馬 淳	加 藤 香 廉
精神科【※完全予約下記参照】	佐々木 由 佳	佐々木 由 佳	佐々木 由 佳	佐々木 由 佳	佐々木 由 佳
神経内科	新 患 担 当	大 澤 宏 之		菊 池 貴 彦	
呼吸器科	守 義 明	佐々島 朋 美 (膠原病) 知 守 口	宇 部 健 治	佐 藤 司	宮 本 孝 行
消化器科	池 端 敦 淳 伏 谷	村 上 晶 彦	赤 坂 威 一 郎 天 野 良 彦	城 戸 治	小 原 範 之 渡 邊 崇
循環器科	野 崎 英 二 中 村 明 浩 野 田 一 樹	野 崎 英 二 高 橋 徹 晃 遠 藤 秀 晃	野 崎 英 二 中 村 明 浩 遠 藤 秀 晃	野 崎 英 二 野 田 一 樹 神 津 克 也	野 崎 英 二 高 橋 尚 平 池 田 尚 平
小児科【特殊外来有】	三 上 仁 ※小児心療内科、小児循環器科については、小児科外来にお問合せください。	三 上 仁	梅 木 郁 美	佐々木 太 郎	三 上 仁
消化器外科・外科	望 月 泉 彦 齊 藤 之	井 上 崇 浩 水 井 崇 浩	白 田 昌 広 中 西 渉	宮 田 剛	村 上 和 重
乳腺内分泌外科	大 貫 幸 二 佐 藤 未 道 来 雄 渡 邊	宇 佐 美 伸 佐 藤 未 道 来 雄 渡 邊	大 貫 幸 二 梅 邑 明 子	大 貫 幸 二 宇 佐 美 伸 子 梅 邑 明 子	宇 佐 美 伸 子 梅 邑 明 子 渡 邊
整形外科	松 谷 重 恒 日 下 重 仁 矢 野 利 尚	小 野 田 五 月 中 村 豪		松 谷 重 恒 小 野 田 五 月 日 下 重 仁	松 谷 重 恒 中 村 利 尚 矢 野 利 尚
脳神経外科	三 河 茂 喜		菅 原 孝 行		木 村 尚 人
呼吸器外科【要予約】 (診察12時半から15時)			大 浦 裕 之	石 田 格	
心臓血管外科		長 嶺 進 彦 小 田 克 彦		垣 畑 秀 光 長 嶺 進 彦	長 嶺 進 彦 吉 岡 一 朗
小児外科	島 岡 理			島 岡 理	
皮膚科	森 康 記 乃 渡 辺 彩 乃	森 康 記 乃 渡 辺 彩 乃	森 康 記 乃 渡 辺 彩 乃	森 康 記 乃 渡 辺 彩 乃	森 康 記 乃 渡 辺 彩 乃
泌尿器科	島 谷 蘭 子 森 田 知 見	岩 動 一 将 島 谷 蘭 子 新	岩 動 一 将	岩 動 一 将 佐 藤 新	岩 動 一 将 島 谷 蘭 子 知 見
産婦人科	葛 西 真 由 美 村 井 眞 也	葛 西 真 由 美 村 井 眞 也	鈴 木 博 也 村 井 眞 也	鈴 木 博 也 葛 西 眞 由 美 村 井 眞 也	鈴 木 博 也 葛 西 眞 由 美 村 井 眞 也
眼科	久 保 抄 子	佐々木 克 哉	吉 田 憲 史	佐々木 克 哉	吉 田 憲 史 佐々木 克 哉
耳鼻いんこう科	遠 藤 芳 彦 阿 部 俊 彦	阿 部 俊 彦	遠 藤 芳 彦 阿 部 俊 彦	遠 藤 芳 彦	遠 藤 芳 彦 阿 部 俊 彦
放射線科(○は治療科)	○松 岡 祥 介 ○太 田 伊 吹 及 川 茂 夫	佐々木 康 夫 ○太 田 伊 吹	佐々木 康 夫 ○松 岡 祥 介 ○太 田 伊 吹	佐々木 康 夫 ○松 岡 祥 介	佐々木 康 夫 ○松 岡 祥 介 ○太 田 伊 吹
がん化学療法科	加 藤 誠 之	加 藤 誠 之	加 藤 誠 之	加 藤 誠 之	加 藤 誠 之
ペインクリニック科	佐 藤 朗	佐 藤 朗	佐 藤 朗	佐 藤 朗	佐 藤 朗
歯科(口腔外科)	横 田 光 正 千 葉 卓	横 田 光 正 千 葉 卓	横 田 光 正 千 葉 卓		横 田 光 正 千 葉 卓
緩和ケア外来【完全予約制】				担当医師(午後)	担当医師(午後)

- 受付時間は精神科と呼吸器外科を除き8:30～11:00（土・日・祝日・年末年始を除く）です。
- 急患の場合は、休診日にかかわらず、24時間いつでも受け入れております。緊急時は、必ず該当診療科へ電話連絡をお願いします。
- 当日受診の際は、診療申込書の受診希望日欄に当日の日付をご記入ください。
- CT・MRI等の高度医療器械の利用についても、紹介患者様を優先いたします。なお、FAX紹介の際には検査部位を必ずご記入ください。
- 精神科の予約につきましては担当医との調整がありますので653-1151(内線2256)平日13:00～14:00電話のみの予約となります。

* 外来診療スケジュール、医師の出張などに伴う不在情報にホームページで毎月更新しています。

<http://www5.pref.iwate.jp/~chuohp/>



TEL 019(653)1151(内線2191 地域医療連携室)
FAX 019(654)5052(地域医療連携室)